

2025 年度 ELEC 英語教育賞授与式・特別講演

ELEC 英語教育賞は英語教育・英語指導の向上に資する実践を奨励する目的で 2015 年に設立され英語教育の発展に寄与することをめざします。ご応募いただいた実践から最も優秀と認められた団体の取組に**文部科学大臣賞**が授与されます。あわせて取組・実践を顕彰するものとして、**ELEC 理事長賞**および個人には**優秀英語授業実践者賞**が授与されます。

2026 年 3 月 14 日(土) 14:00~16:20

会場：千代田区神田錦町 2-9 コンフォール安田ビル地下 1 階
(最寄り駅：東西線 竹橋駅 3b 出口 徒歩 3 分、都営三田線 神保町駅 A9 出口 徒歩 7 分)
参加費：無料

■ ELEC 英語教育賞授与式 14:00 - 14:30

選考委員長：吉田研作（上智大学名誉教授）／ご祝辞：田井祐子（文部科学省外国語教育推進室長）

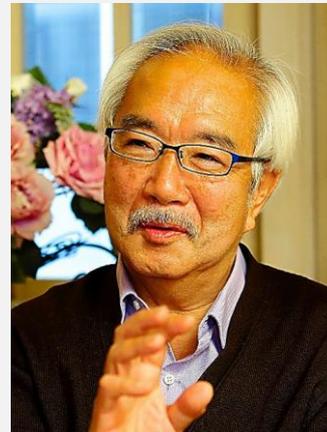
■ 特別講演 14:45 - 16:10

* 特別講演終了後は 17:45 ごろまで簡単な交流会を行います。

タイトル：「ことばとその獲得メカニズムから学校英語教育を見直す
——母語・外国語・メタ言語能力」

講師：大津由紀雄（関西大学客員教授・慶應義塾大学名誉教授）

本講演では、1950 年代の「認知革命」以降の言語理論研究と言語心理学の成果を見据えたうえで、学校英語教育の在り方を考えます。キーワードは副題に掲げた「母語」「外国語」「メタ言語能力」です。これらの視点から、近年の英語教育政策を根本から見直し、いくつかの課題を浮き彫りにします。同時に、その代案をできるだけ現実的な形で提示したいと考えています。とくに強調したい点は、英語教育を「ことばの教育」として捉え直すことの必要性です。現行学習指導要領に見られるその芽が現在進行中の改訂作業の中で摘まれてしまうことがないようにという講演者の強い願いを込めてお話しいたします。



講師プロフィール

第一言語（母語）獲得のメカニズムを一貫して探究し、単純な言語経験から複雑な言語知識の体系がいかにか構築されるのかを理論と実験の両面から追究してきた。生得的言語機能の早期発現をめぐる研究でも先駆的成果を挙げた。MIT で博士号取得後、東京学芸大学・慶應義塾大学・明海大学で研究と教育を牽引。疑問詞疑問文、かきまぜ文、受け身文などの獲得研究で通説を刷新し、日本認知科学会設立にも参画。三田言語心理学研究会による Tokyo Conference on Psycholinguistics を主宰。著書・編著多数、国内外で講演多数。言語獲得、言語理解、メタ言語能力への視点からことばと教育について社会への発信を続ける。趣味は「歌怪獣」島津亜矢。

詳細は ELEC ウェブサイトをご確認ください

https://www.elec.or.jp/social_contribution/award_ceremony



一般財団法人 英語教育協議会 (ELEC)

HP: <https://www.elec.or.jp>